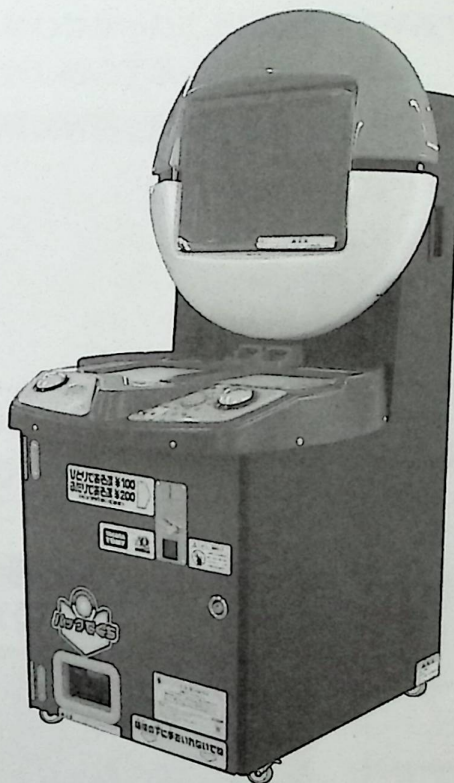
™

シリーズ

故障対応・メンテナンスマニュアル

2008.7版

本製品を安全に使用していただくために、使用前に必ず本書と筐体取扱説明書、遊び方・テストモードマニュアルをよくお読みいただき、十分に理解してください。
本書と筐体取扱説明書、遊び方・テストモードマニュアルは、お読みになった後、必要なときにいつでも使用できる場所に大切に保管してください。

株式会社 タカラトミー

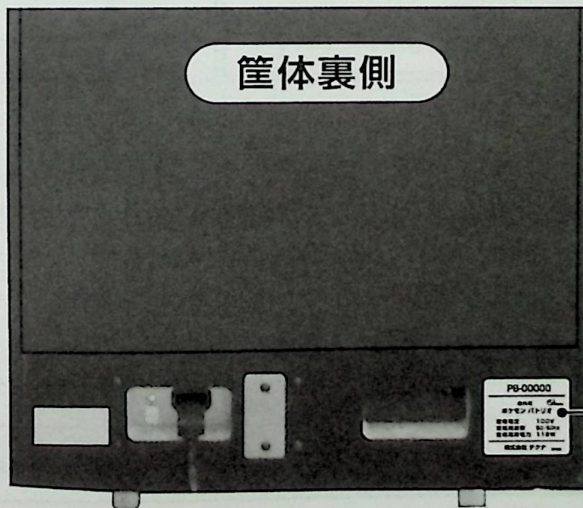
はじめに

このたびは、株式会社タカラトミーの製品をご愛用頂きまして、ありがとうございます。
本書は、本製品のメンテナンス、故障、トラブルシューティングなど、本製品を安全にご使用いただくための方法を記載しております。
読者には、本製品の所有者、管理者、運営者を対象としております。
本書をよくお読みになり、内容を十分にご理解いただいた上で本製品をご使用ください。
万一、正常な機能が得られない場合は、弊社AM業務用相談室までご連絡下さい。

◎ 改良のため予告なく仕様を変更することがあり、筐体取扱説明書および遊び方・テストモードマニュアルの内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◎ 筐体取扱説明書と遊び方・テストモードマニュアル、故障対応・メンテナンスマニュアルに記載している手順や注意事項に従わなかったことに起因する事故や損害に関しては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◎ 説明の便宜上、イラストや写真は実際と異なる場合があります。

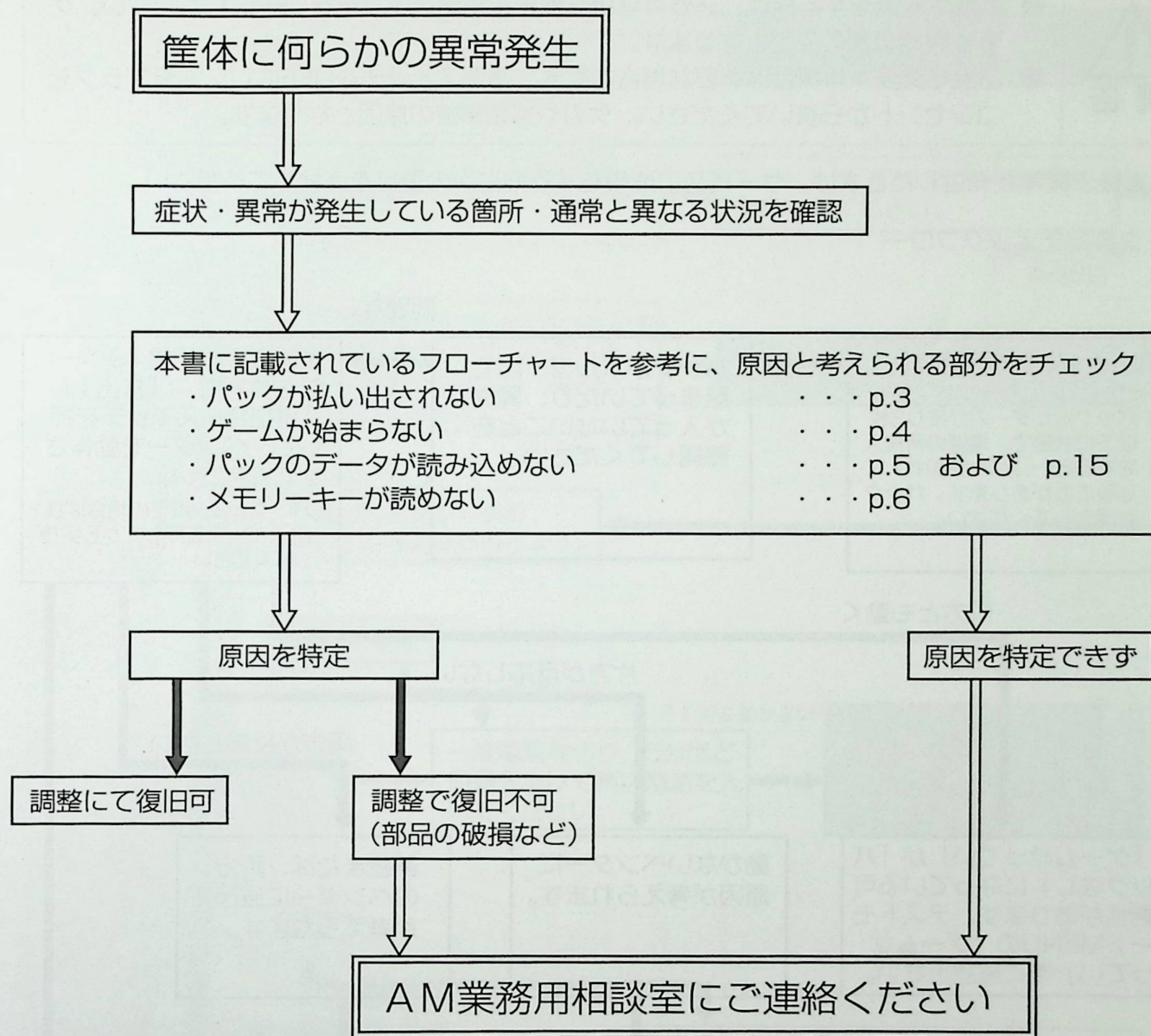
本製品は株式会社タカラトミーが、出荷時に筐体に添付されたシリアルナンバーにより、メンテナンスおよびバージョンを管理をしております。
筐体裏側に添付されているシリアルナンバーシールは、絶対に剥がさないで下さい。

(オペレーターからシリアルナンバーをお伺いする際はこちらのシールをご確認下さい)

シリアルナンバー

PB-00000
屋内用
JGA
ポケモン バトリオ
定格電圧 100V
定格周波数 50/60hz
定格消費電力 118W
株式会社 テクナ
日本製

目　次

AM業務用相談室にご連絡いただく前に

トラブル時のフローチャート

ＡＭ業務用相談室にご連絡いただく際は、「ポケモンバトリオ」という製品名とともに、下記の事項についても併せてお伝えください。

・筐体シリアルナンバー（筐体背面下のシールに記載）
・状況（症状、原因、発生した時期、破損部分など）
・店舗様名
・ご担当者様名
・ご連絡先（電話番号）

※製造ナンバー（シリアルナンバー）により、一部対応方法が異なる部分がございます。必ずご確認下さい。

1. 故障かなと思ったら

警告	● 点検や対策をする際は、必要な場合を除き、電源スイッチをOFFにしください。ケガや感電事故の原因となります。 ● 部品を交換する場合は必要な場合を除き、電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガや感電事故の原因となります。

● 本機に異常が発生したときは、サービスの依頼をする前に次の項目を点検してください。

パック排出チェックフロー

パックが払い出されない。

※ パックホルダー内が残り3枚以下の状態で、電源の再投入をすると、「パック切れ」になることがあります。パックを補充してください。

→ パックがホルダー内で詰まっていたり、異物が入っていないことを確認してください。

→ 問題なし → 筐体取扱説明書19ページを参考に、「排出1」「排出2」スイッチを押して、ベンダーを動作させてください。

※ パックが3枚以下の場合は検出スイッチを押してから実施してください。

- 両方とも動く → 「ゲームせってい」が「パックなし」になっている可能性があります。テストモードMENUの「ゲームせってい」をご確認下さい。
- 片方が反応しない → 動かないベンダーに原因が考えられます。
- 両方が反応しない → 基板または、両方のベンダーに原因が考えられます。
- モーターの作動音はするが、ベンダーが正常動作しない。 → ベンダー内のネジのゆるみや可動部への異物干渉の可能性があります。

（動かないベンダー／基板または両方のベンダー）→ 本書25ページを参照してベンダーコネクターの抜け、ゆるみを確認してください。

→ 直らない → ベンダーなどの交換が必要です。AM業務用相談室にご連絡ください。

電源チェックフロー

画面に何か表示されている（された）
ゲームが始まらない
左上に「Disk Boot Failure」などと出る
Type Xの故障が考えられます。
ＡＭ業務用相談室にご連絡ください。
画面中央に「NO SIGNAL」と表示されたあと、先に進まない。
Type XとLCDモニターの接続を確認してください。
画面に何も表示されない（画面が黒いまま）
接続されているが、映らない
・画面が白いままになっている
・画面にヒビが入っている
・画面の一部に白（黒）い部分がある
LCDモニターの故障が考えられます。
ＡＭ業務用相談室にご連絡ください。
コネクターの緩みや、たこ足配線などにより十分な電力が供給されていない可能性があります。
電力に問題なし
Type Xのファンは動いていますか
動いている
動いていない
それでも動かない
Type XとLCDモニターの接続を確認してください。
一度電源を切り、5分ほど時間をあけて再度電源を入れてください。
Type Xの故障が考えられます。
ＡＭ業務用相談室にご連絡下さい。
接続されているが、映らない
音声は再生されていますか
されている
されていない
LCDモニターの故障か、接続に問題があると考えられます。
ＡＭ業務用相談室にご連絡ください。
起動画面が途中で停止し、タイトル画面まで行かない場合は、パックスキャナーやタッチパネルの認識不良の可能性があります。
各装置の接続を確認してください。
接続されているが、映らない
Type Xの故障が考えられます。
ＡＭ業務用相談室にご連絡ください。

1. 故障かなと思ったら

スキャン関係チェックフロー

メモリーキー関係チェックフロー

● メモリーキー書き込み前に、メモリーキーを抜いてしまっている可能性があります。
画面の指示があるまでメモリーキーを抜かないでください。

● メモリーキーを読み込むときに、一瞬接触不良になった可能性があります。
接触が不安定なメモリーキーを使用する場合、ゲームを始める前に、あらかじめメモリーキーをスロットに装着し、緑ランプが安定して点灯することを確認してから￥100硬貨を投入してください。

● データがこわれている可能性があります。
ランプが赤く点灯（ビジー）している間は絶対にメモリーキーを抜かないでください。

● メモリーキーの接触不良や電源が安定していない可能性があります。
ゲーム中、常に緑ランプが点灯し、読み書き時のみ1.0秒程度赤ランプが点灯することをご確認ください。

点灯しないか、赤ランプが点灯したまま。

●メモリーキーの電池容量が無くなっている可能性があります。電池交換をして下さい。

●メモリーキーコネクターの接触不良の可能性があります。
メモリーキーの挿し方を少しズラすなどして、緑ランプが点灯するように調整してください。

●稀にメモリーキーの電池蓋などの不良の可能性があります。
お客様相談室にご連絡ください。

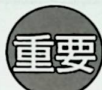
〔その他の確認事項〕

症　　状	確　認　事　項	対　　策
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	ACコンセントおよび本機のACインレットに電源コードのプラグが正しく接続されていますか。	ACコンセントおよび本機のACインレットに電源コードのプラグを正しく接続してください。
	ヒューズが切れていませんか。	ヒューズを交換してください。
	コンセントにAC100Vが供給されていますか。	屋内配線をチェックしてください。
ヒューズを交換しても、また切れてしまう。		下記の※を参照してください。
システムは動作しているのに音が出ない。	音量調整ボリュームが絞り切った状態になっていませんか。	音量調整ボリュームを調整してください。
	コネクター及びハーネスをチェックしてください。テストモードで動作確認をしてください。	いずれも異常がなければ、スピーカーを交換してください。
コインセレクターに100円硬貨を入れてもゲームがスタートしない。	コインセレクターのマイクロスイッチレバーをチェックしてください。	コインセレクターが不良の場合は交換してください。
	筐体が傾いて設置されていないか確認して下さい。	水平になるように設置して下さい。

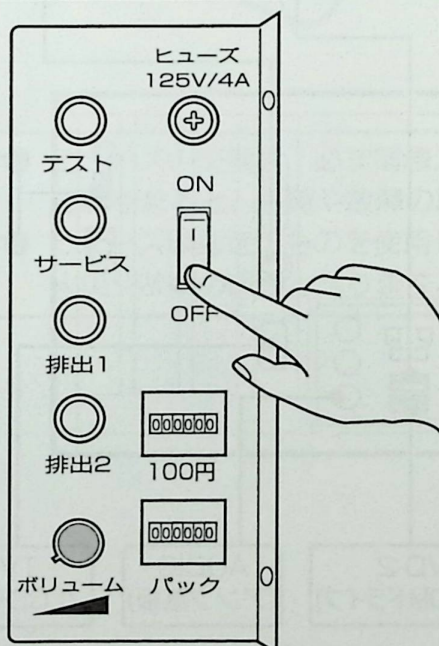
※　上記の対策で不具合が解決されない場合は、AM業務用相談室へご連絡ください。

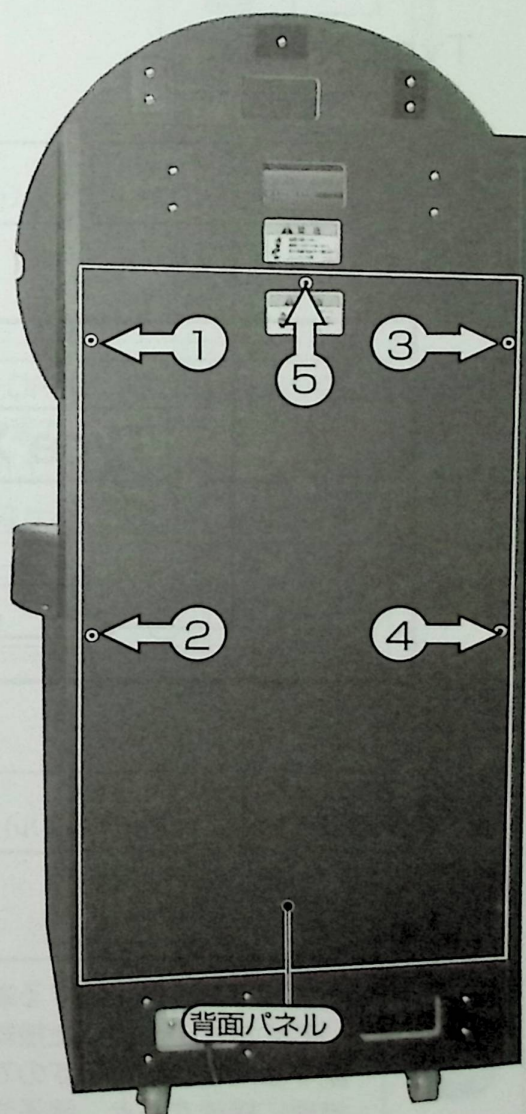
※　部品の交換が必要な場合は8～29ページの「部品の交換方法」および、34ページの「保守部品リスト」をご覧ください。

2 部品の交換方法

パーツの取り外し、および交換は必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
本機内部には高電圧回路がありますので、電源プラグが差し込まれたまま内部に触れると感電事故の原因となります。

部品は必ず弊社指定のものをご使用ください。

本機を運用するためのメンテナンスやパーツの交換をするときは、必要に応じてメンテナンスドアおよび背面パネルを開いて操作をします。

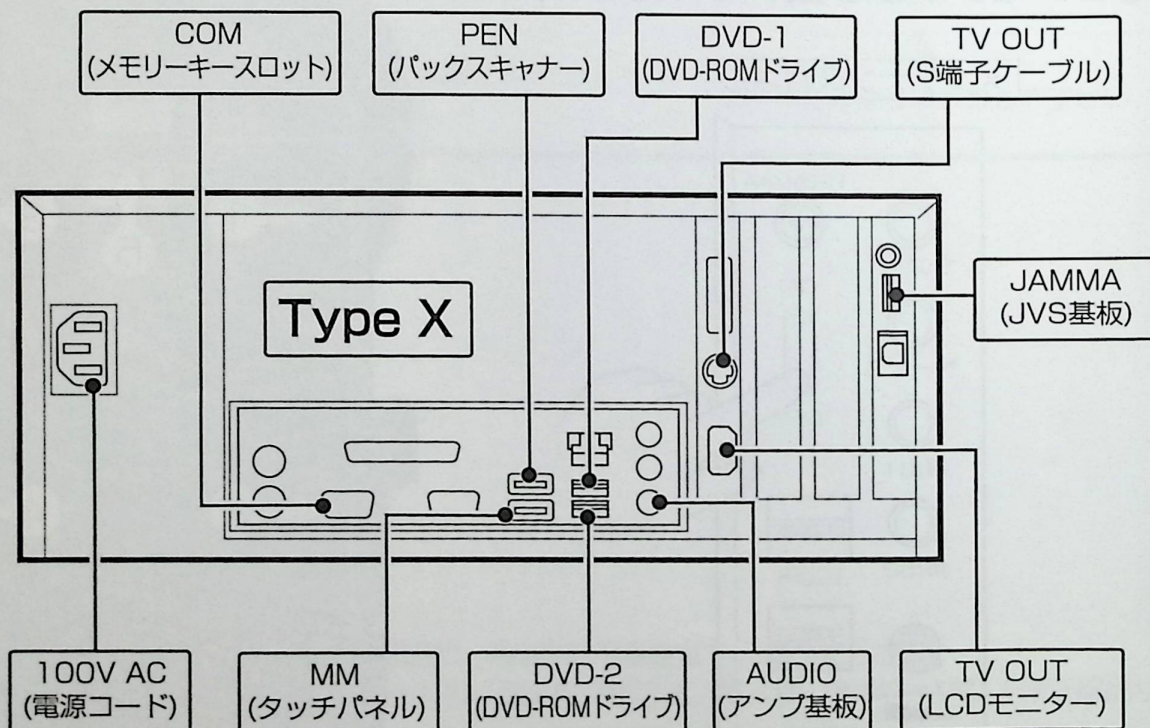
部品の交換をする際は、必ず電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

背面パネルの外し方

背面パネルはネジ5本(①～⑤)を外し、手前に引いて取り外します。

- 電源をONにする時は、バトルフィールド内にパックや異物を置かないでください。電源をONにする時にバトルフィールドに物が置いてあると、本機が正常に動作しない場合があります。
- ゲーム中、スキャン場面でパックを置いていないのに、「スキャンしていないパックは置かないでね」と警告がでてしまう場合などは、この部分でセンサーの初期化に失敗している可能性があります。
フィールド上に物がないことを確認して、電源を再投入してください。

Type Xの接続について

部品やユニットを交換する際、Type Xの端子からハーネスのコネクターを取り外す場合があります。交換終了後、Type Xにコネクターを接続する際は、正しく接続してください。

接続の際は、下記の図を参考にして接続する端子を確認してください。

Type X背面

各ハーネスには接続する端子名が記入されたタグが付いていますので、正しく接続してください。誤った接続をすると、故障の原因となります。また、各端子には接続する向きがありますので、正しい方向に接続してください。向きを間違えたまま無理に接続すると、端子やコネクターが破損します。

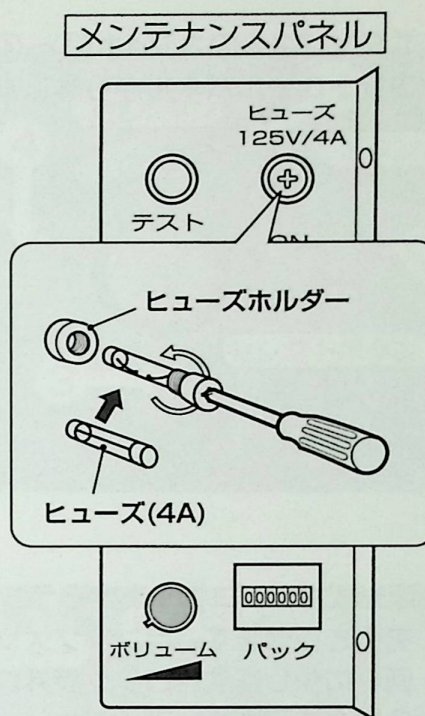
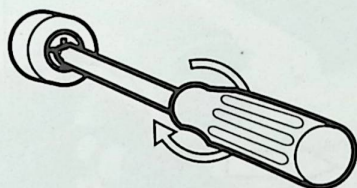
ヒューズの交換

電源ヒューズが切れた場合は、図のように新しいヒューズ（125V／4A）に交換してください。

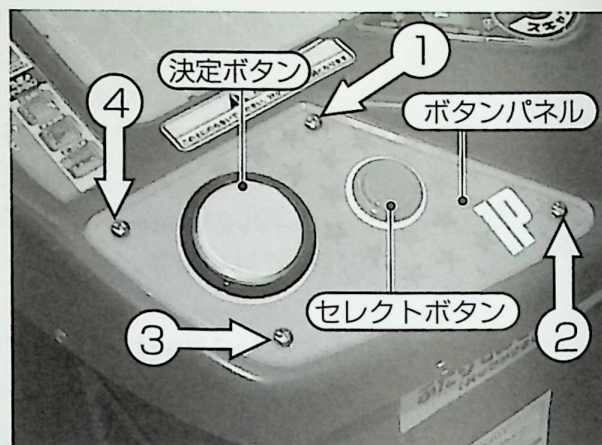
1. メンテナンスドアを開いて電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

2. メンテナンスパネルのヒューズホルダーを、プラスドライバーで外します。

3. ヒューズホルダーから切れたヒューズを引き抜き、新しいヒューズと交換します。

4. ヒューズホルダーを元の場所に差し込み、ドライバーで固定します。

- ヒューズの交換は、必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。これを怠ると、感電や故障の原因となります。
- ヒューズは指定のものを使用してください。指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。[指定ヒューズ：125V/4A]

決定ボタンの交換

1. ボタンパネルのネジ4本(①～④)を外し、コントロールパネルから外します。

2. 照光式ボタンユニットからランプソケットを引き抜きます。ランプソケットを反時計回りに少し回すとロックが外れますので、そのまま引き抜いてください。

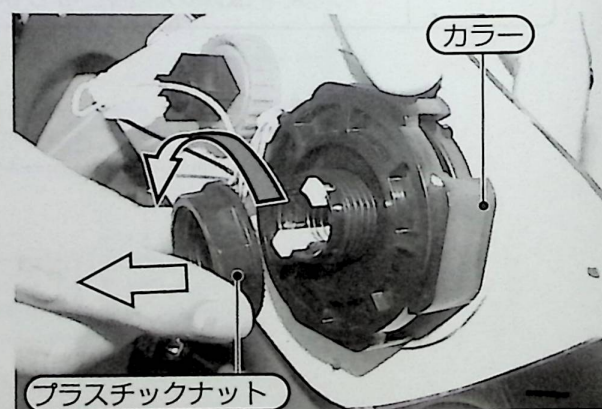
4. 照光式ボタンユニットのプラスチックナットを反時計回りに回して取り外します。

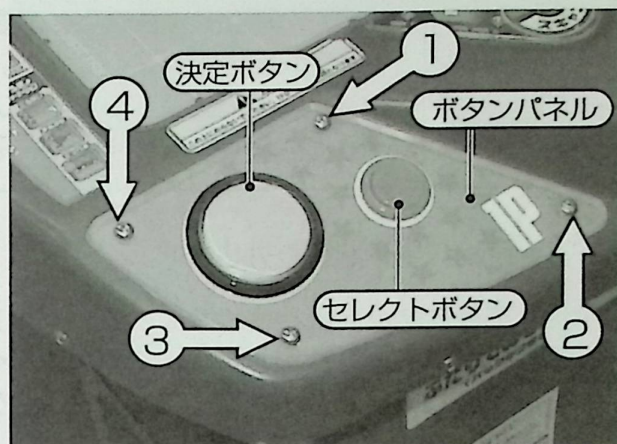
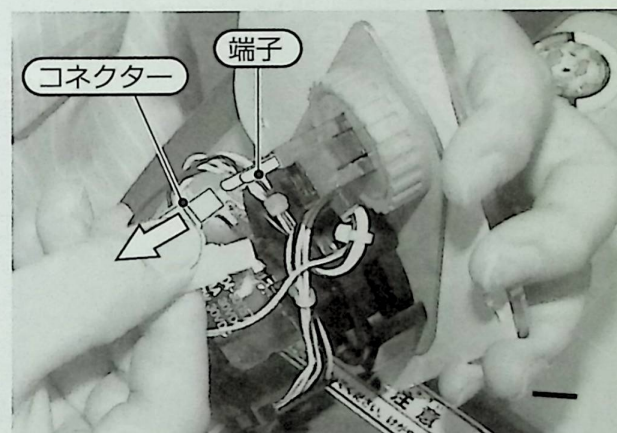
5. フロントパネル前面から照光式ボタンを引き抜きます。

6. 新しい照光式ボタンを元の位置に装着します。

7. 照光式ボタンをプラスチックナットで固定します。

8. ランプソケットを差し込み、時計回りに少し回すと、ロックします。

9. ボタンパネルをコントロールパネルに装着し、ネジ4本(①～④)で固定します。

セレクトボタンの交換

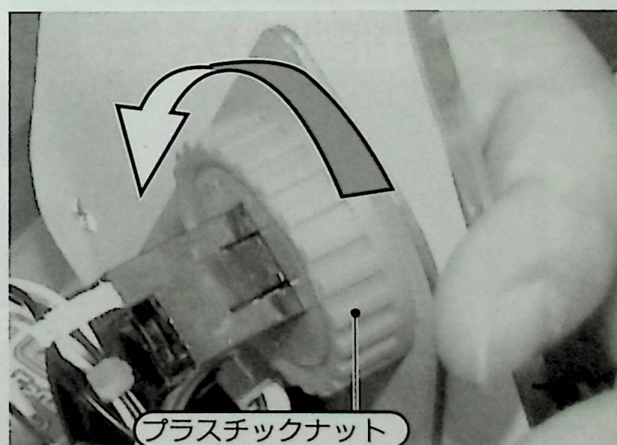
1. ボタンパネルのネジ(4本 ①~④)を外し、コントロールパネルから外します。

2. ボタンユニットの端子からコネクター(2ヶ所)を外します。

3. ボタンユニットのプラスチックナットを反時計回りに回して取り外します。

4. フロントパネル前面からセレクトボタンを引き抜きます。

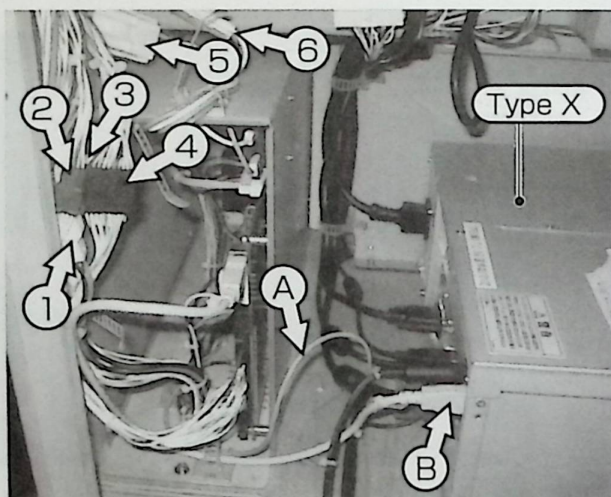
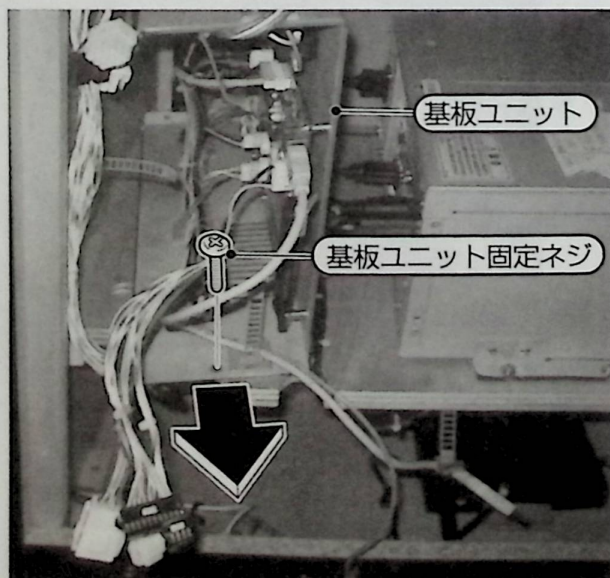
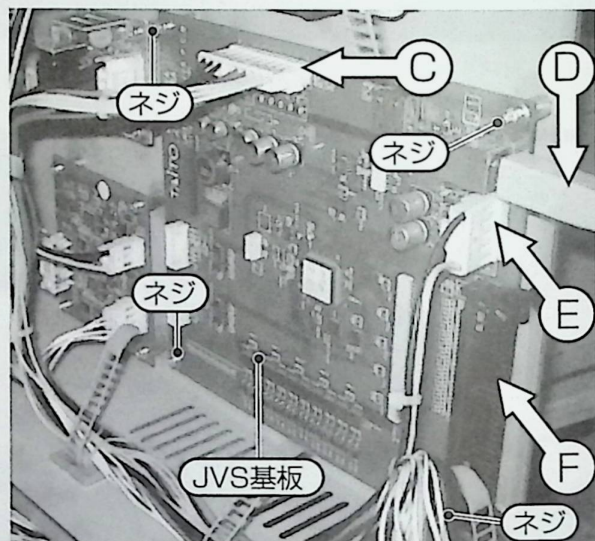
5. 新しいセレクトボタンを元の位置に装着します。

6. セレクトボタンをプラスチックナットで固定します。

7. セレクトボタンの端子(2ヶ所)にハーネスのコネクターを接続します。

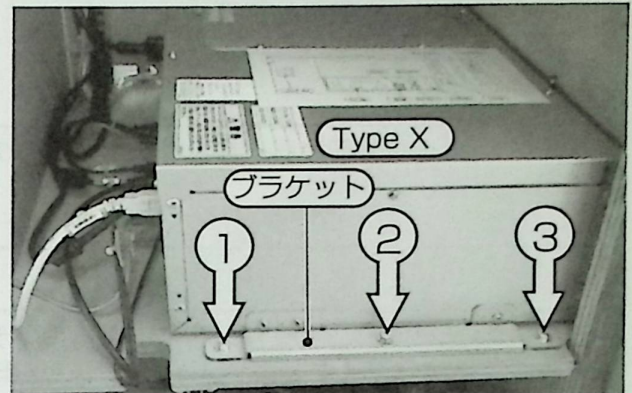
8. ボタンパネルをコントロールパネルに装着し、ネジ(4本)で固定します。

JVS基板の交換

ハーネスの接続を外す際、必要に応じてハーネスを固定しているケーブルクランプを外して作業を行ってください。作業が終了したら、必ずケーブルクランプで元のようにハーネスを固定してください。
※ 接続の際は、9ページの「Type Xの接続について」をご覧ください。

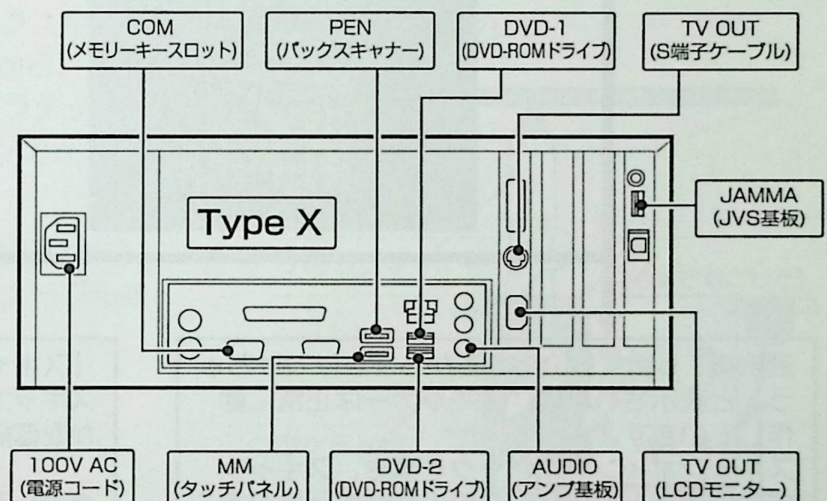
1. 背面パネルを取り外します。
2. 基板ユニットに接続されているハーネスのコネクター6ケ所(①～⑥)とType Xに接続しているハーネスのコネクター2ケ所(Ⓐ～Ⓑ)を取り外します。

3. 基板ユニット固定ネジを取り外し、基板ユニットを引き出します。

4. JVS基板からハーネスのコネクター4ケ所(Ⓒ～Ⓕ)を取り外します。

5. JVS基板を固定しているネジ(4本)を外し、JVS基板を取り外します。
6. 新しいJVS基板を元の位置にセットし、ネジ(4本)で固定します。
7. JVS基板にハーネスのコネクター4ケ所(Ⓒ～Ⓕ)を接続します。
8. 基板ユニットを元の位置にセットし、ネジ(1本)で固定します。
9. 基板ユニットに接続するハーネスのコネクター6ケ所(①～⑥)を接続します。

Type Xの交換

1. 背面パネルを取り外します。

2. Type Xを固定しているブラケットのネジ ネジ3本(①～③)を外し、ブラケットを取り外します。

3. Type Xを少し手前に引き、接続されているハーネスのコネクター(10ケ所) を取り外します。

4. Type Xを引き出し、交換します。

5. 交換したType Xに、ハーネスのコネクター(10ケ所) を接続します。

6. Type Xを元の位置にセットします。
この時、Type Xの奥側のブラケットが筐体側のブラケットの下に入り込むようにしてください。正しく装着されていないと、Type Xは固定されません。

7. 手前側のブラケットを、3本(①～③)で固定します。

ハーネスの接続を外す際、必要に応じてハーネスを固定しているケーブルクランプを外して作業を行ってください。作業が終了したら、必ずケーブルクランプで元のようにハーネスを固定してください。

パックスキャナーの動作確認

筐体の背面パネルを外します

↓

Type XのUSB端子から、パックスキャナーのハーネスのコネクタを外し、もう一度差し込みます
（「PEN」と書かれたタグが付いているコードです）

↓

筐体の電源を入れ、ゲームのタイトル画面でテストモードボタンを押し、I/Oテストから「スキャンテスト」を選択します

ポケモンバトリオ Ver2.01
テストモード MENU
I/Oテスト MENU
○ボタンテスト
ランプテスト
タッチパネルテスト
スキャンテスト
コインテスト
メモリーキーテスト
モニターテスト
デバイスチェック
EXIT
そうさ 1Pじょう、2Pじょう=せんたく 1Pだい=けってい 2Pだい=もどる

「うけつけちゅう」になった

選択後、6秒くらいたってから「うけつけちゅう」と表示されれば、スキャナーは正常に動作しています。
スキャンポイントにパックを置き、スキャン成功の音とともにパックの名前が表示されることを確認します。
その際に表示される数値が100～300程度であることを確認してください（下図参照）。

きちんとスキャンできない

きちんとスキャンできない（数値が400以上であったり、読み込めたり読み込めなかったりする）場合は、スキャナー付近のネジを緩め、スキャナーの位置を調整してください。

それでも直らない

「きどうちゅう」のまま

「スキャナーきどうちゅう」のままの場合は、スキャナー側面にあるランプが点滅しているかを確認してください。

点滅していない、もしくは点滅が早い場合はスキャナーの故障の可能性がございます。

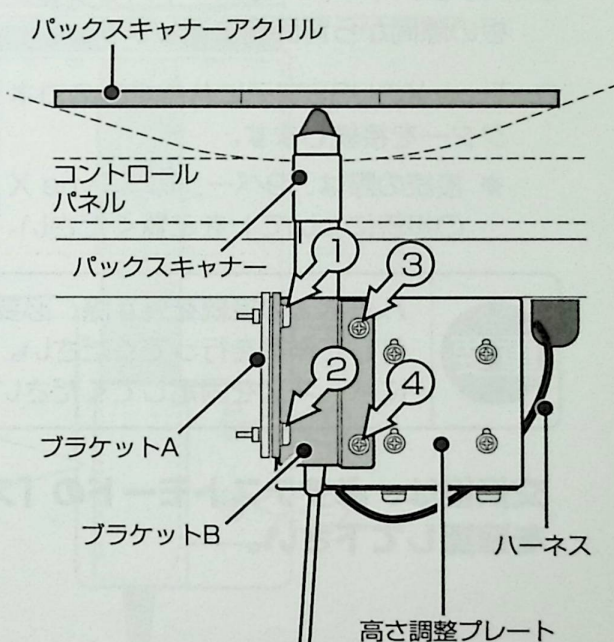
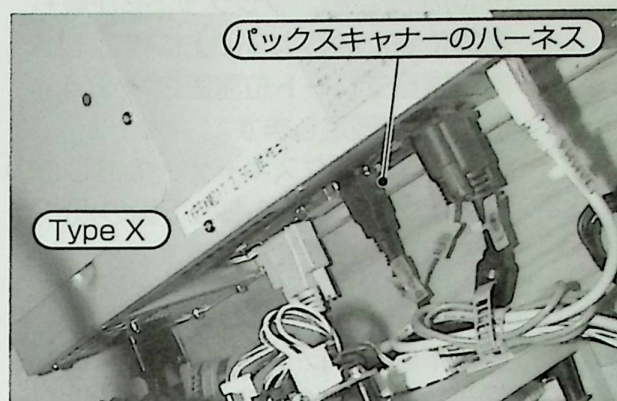
AM業務用相談室にご連絡ください

パックスキャナーの交換（PB-00001～01000までの筐体）

1．背面パネルを取り外します。

2．Type XのUSB端子から、パックスキャナーのハーネスのコネクターを外します。「PEN」と書かれたタグがついています。

3．メンテナンスドアを開き、パックスキャナーを装着しているブラケットAから、パックスキャナーを固定しているブラケットBのネジ(4本 ①～④)を外し、ブラケットBを取り外します。

4．パックスキャナーを取り外し、仕切り板の隙間からType Xに接続していたケーブルを取り出します。

5．ブラケットAに新しいパックスキャナーをセットしてブラケットBを装着し、ネジ(4本 ①～④)で固定します。

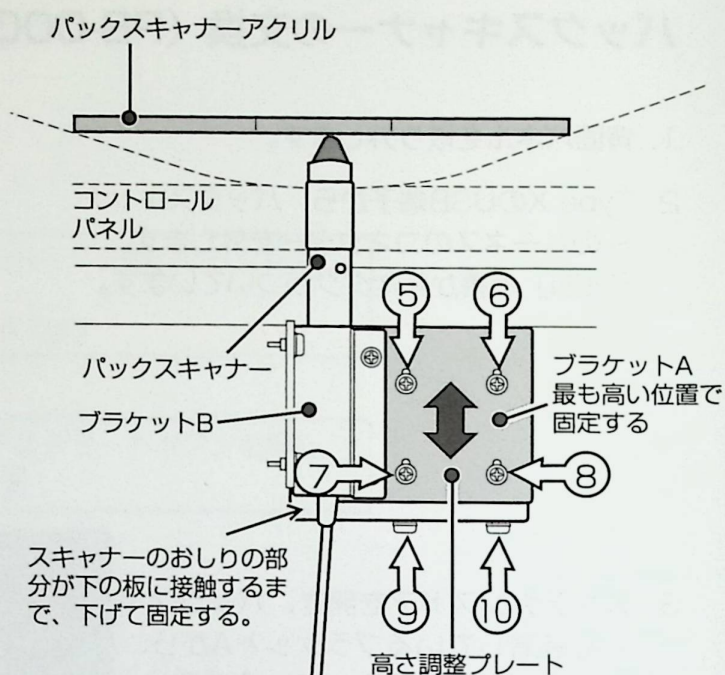
このとき写真の※の部分にすべり止めのゴム板が巻いてある必要があります。万一ついていない場合ははずした古いスキャナーのものをつけかえて下さい。

〔次ページに続く〕

6. 高さ調整プレート位置固定ネジ(4本 ⑤～⑧)とプレートロックネジ(2本 ⑨～⑩)をゆるめ、ブラケットBが最も高い位置になるように上に押し上げ、高さ調整プレート位置固定ネジ(4本 ⑤～⑧)で固定します。
このときパックスキャナーのおしりの部分は、ブラケットBの下側の板に接触するまでさげておきます。

7. 高さ調整プレートの位置を固定したら、下側のプレートロックネジ(2本 ⑨～⑩)でロックします。

8. パックスキャナーのハーネスを仕切り板の隙間から背面側に通します。

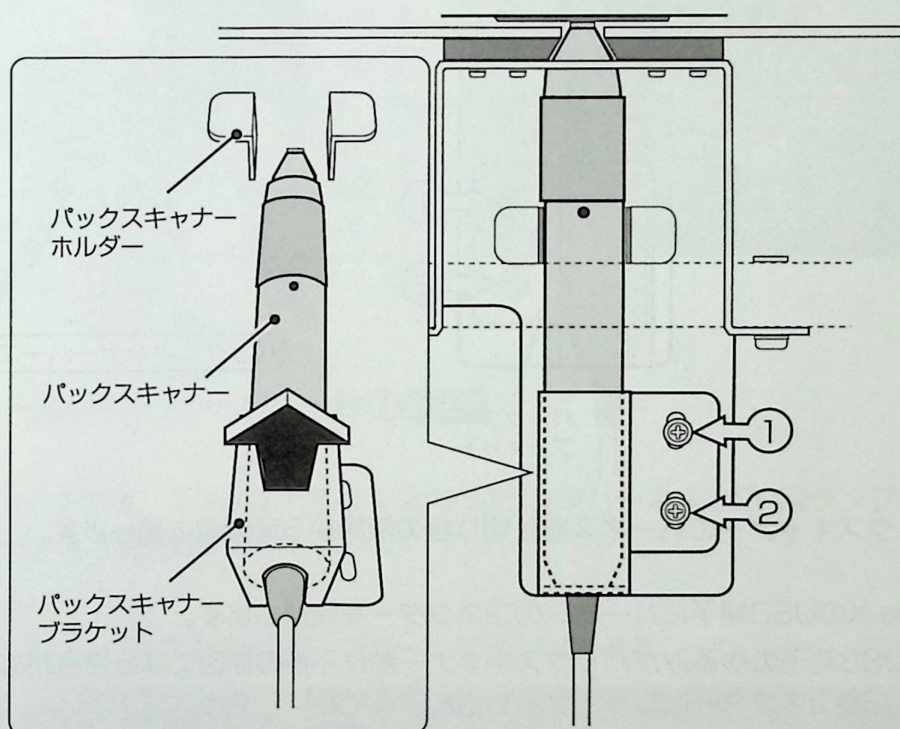
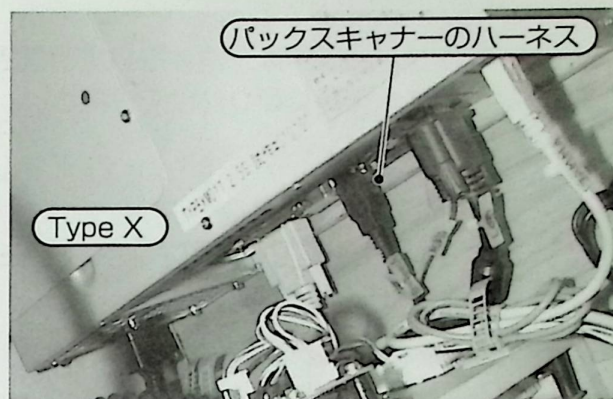
9. Type XのUSB端子にハーネスのコネクターを接続します。
※ 接続の際は、9ページの「Type Xの接続について」をご覧ください。

ハーネスの接続を外す際、必要に応じてハーネスを固定しているケーブルクランプを外して作業を行ってください。作業が終了したら、必ずケーブルクランプで元のようにハーネスを固定してください。

交換後は、必ずテストモードの「スキャンテスト」を実行し、正常に動作することを確認して下さい。

パックスキャナーの交換（PB-01001以降の筐体）

1. 背面パネルを取り外します。

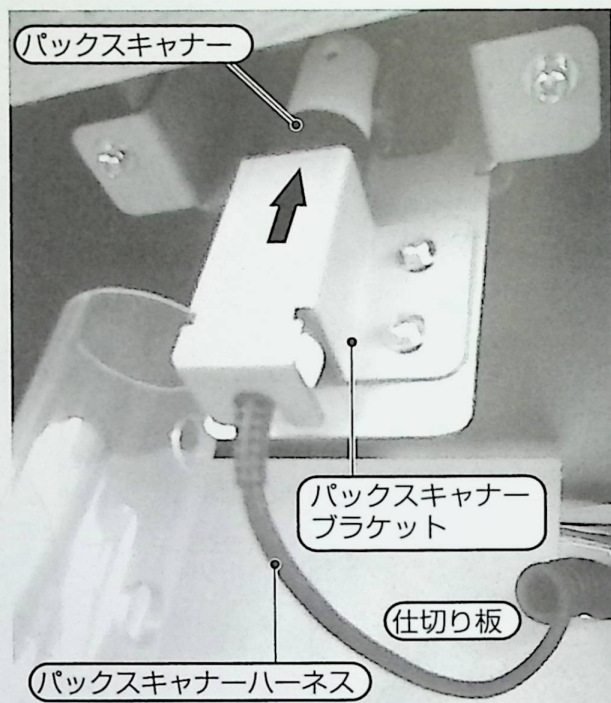
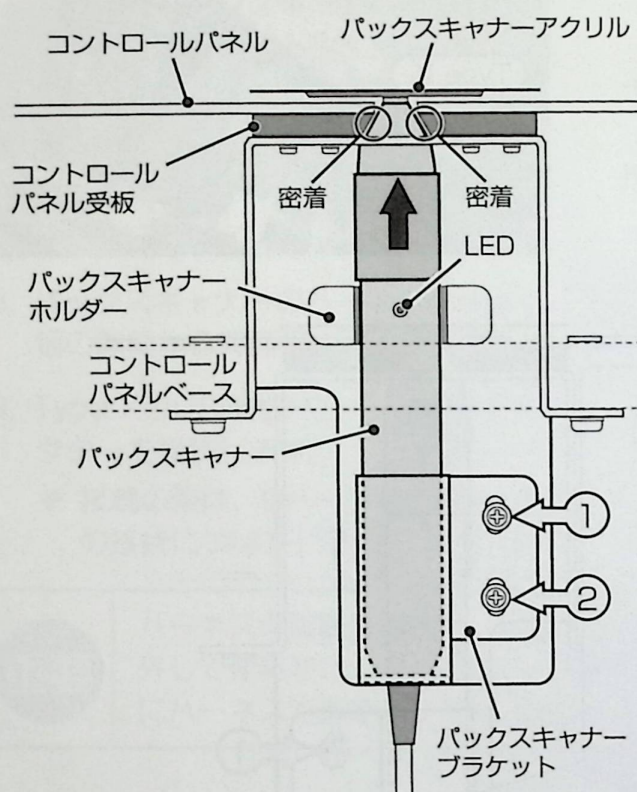
2. Type XのUSB端子から、パックスキャナーのハーネスのコネクターを外します。

3. メンテナンスドアを開き、パックスキャナーブラケット固定ネジ2本(①、②)を外し、ブラケットごとパックスキャナーを取り外します。

4. パックスキャナーをブラケットから取り外し、仕切り板の隙間からType Xに接続していたケーブルを取り出します。

   写真の※の部分にはすべり止めのゴム板が巻いてある必要があります。万一、新しく取り付けるスキャナーにゴム板がついていない場合、はずした古いスキャナーのものをつけかえて下さい。

〔次ページに続く〕

5. ブラケットに新しいパックスキャナーをセットし、ブラケットをネジ2本(①、②)で固定します。この時、パックスキャナーがコントロールパネル受板に接近するように位置を調整してから固定してください。

※ 取り付けの際は、筐体取扱説明書28ページ～29ページの「パックスキャナーの調整」を参考に、正しく取り付けてください。

6. パックスキャナーのハーネスを仕切り板の隙間から背面側に通します。

7. Type XのUSB端子にハーネスのコネクターを接続します。

※ USB端子のゆるみがパックスキャナー動作不良の原因になる場合があります。
USBコネクターはしっかり差し込んでください。

※ 接続の際は、9ページの「Type Xの接続について」をご覧ください。

ハーネスの接続を外す際、必要に応じてハーネスを固定しているケーブルクランプを外して作業を行ってください。作業が終了したら、必ずケーブルクランプで元のようにハーネスを固定してください。

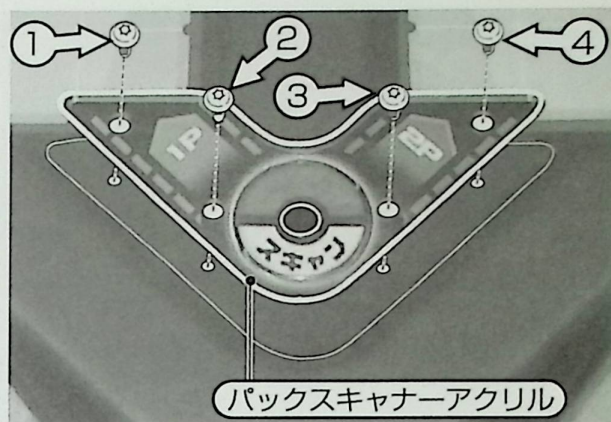
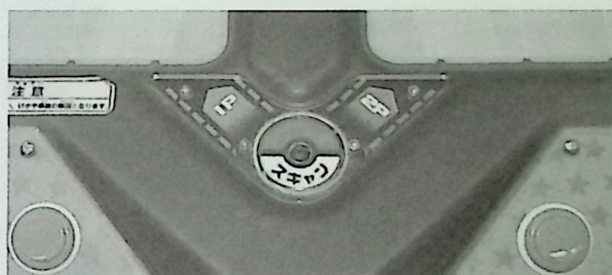
交換後は、必ずテストモードの「スキャンテスト」を実行し、正常に動作することを確認して下さい。

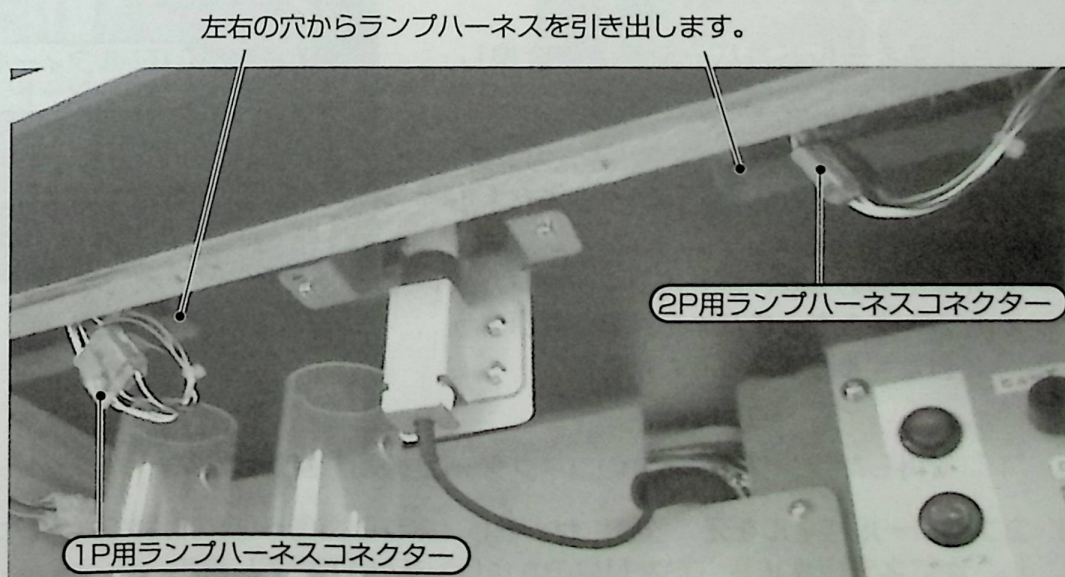
パックスキャナーアクリルの交換

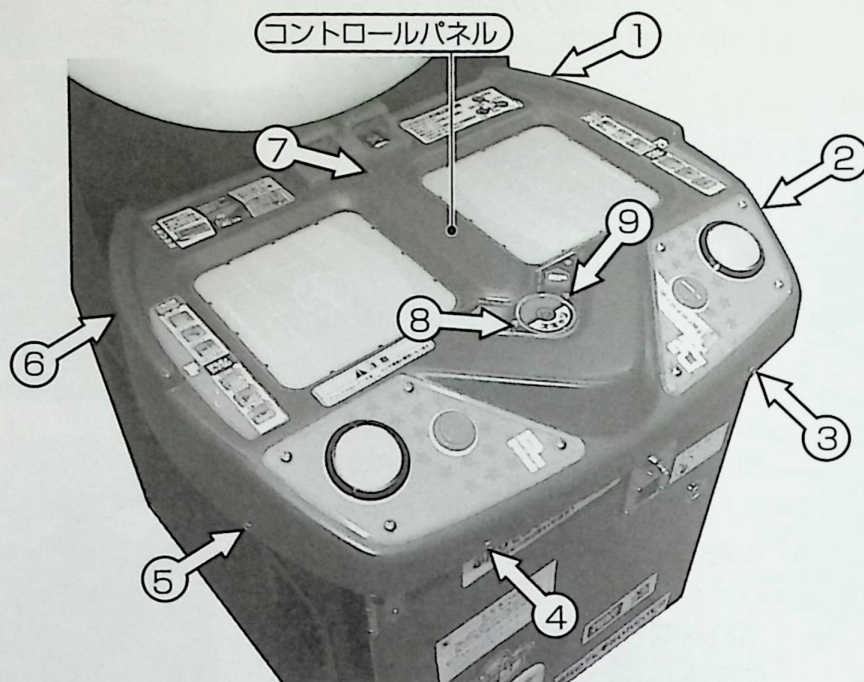
1. パックスキャナーアクリルを固定しているネジ(4本)を取り外します。

   ● パックスキャナーアクリルは、付属のM3の六角レンチで作業を行ってください。

   ● 取りつけの際は、パックスキャナーアクリルの裏表をご確認下さい。

2. 新しいパックスキャナーアクリルを元の位置にセットし、ネジ(4本)で固定します。

パックスキャナーアクリルが汚れていたり傷がついていると、パックが正常にスキャンできなくなります。パックスキャナーアクリルは、毎日汚れを落とし、傷が多い場合は早めに交換してください。

バトルフィールドカバーシートの交換

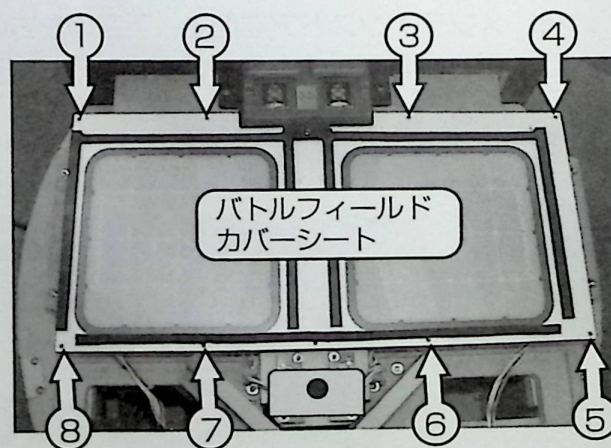
1. メンテナンスドアを開き、下図の左右の穴から1P用ランプハーネスと2P用ランプハーネスを引き出してコネクターの接続を外します。

〔次ページに続く〕

2. コントロールパネルの側面を固定しているネジ6本(①～⑥)とメモリースロット手前のネジ1本(⑦)を、付属の六角レンチ(大)で外します。

3. パックスキャナーアクリルを固定しているネジ4本のうち、内側の2本(⑧～⑨)を、付属の六角レンチ(小)で外します。

4. フロントカバーに当たらないように、コントロールパネルを外します。

5. バトルフィールドカバーシートとその下のタッチパネルを共締めしているネジ(8本)を外し、バトルフィールドカバーシートを取り外します。

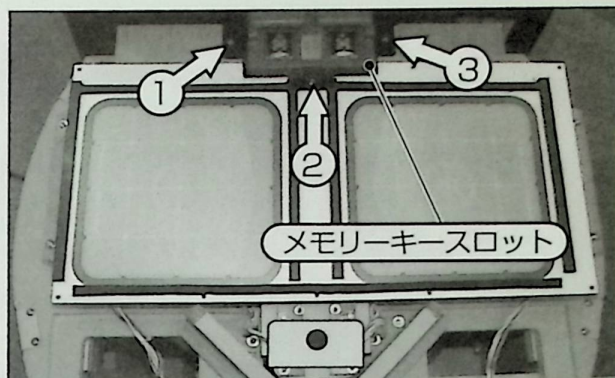
6. バトルフィールドカバーシートを交換します。

7. バトルフィールドカバーシートを元の位置にセットし、ネジ(8本)で下のタッチパネルと共締めします。
   ※ ネジを締める際、バトルフィールドカバーシートとタッチパネルが動かないように固定する程度にしてください。

8. “1.” で外したランプハーネスのコネクター(2ヶ所)を接続します。

9. コントロールパネルを元の位置にセットし、ネジ2本(⑧～⑨)を付属の六角レンチ(小)で固定し、次にネジ(7本)(①～⑦)を付属の六角レンチ(大)で固定します。

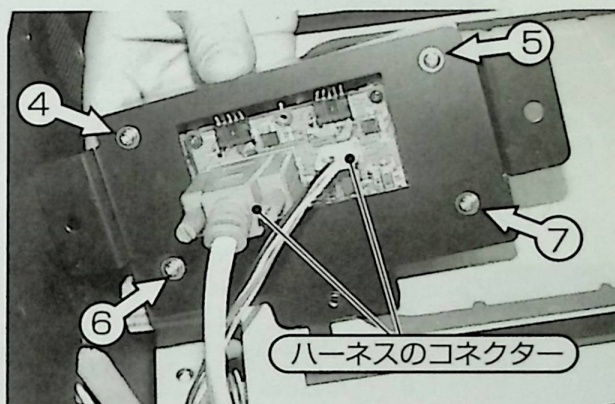
メモリーキースロットの交換

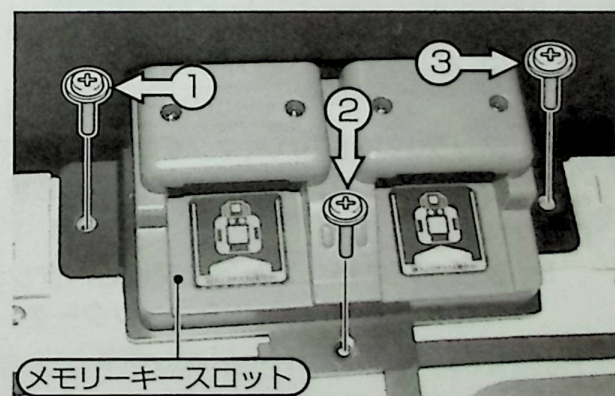
1. 20～21ページ「バトルフィールドカバーシートの交換」の1.～4. の手順でコントロールパネルを取り外し、安全な場所に置きます。

2. メモリーキースロットを固定しているブラケットのネジ3本(①～③)を外し、ブラケットごとメモリーキースロットを取り外します(まだハーネスが接続されてているのでご注意ください)。

3. メモリーキースロットに接続されているハーネスのコネクター(2ヶ所)を外します。

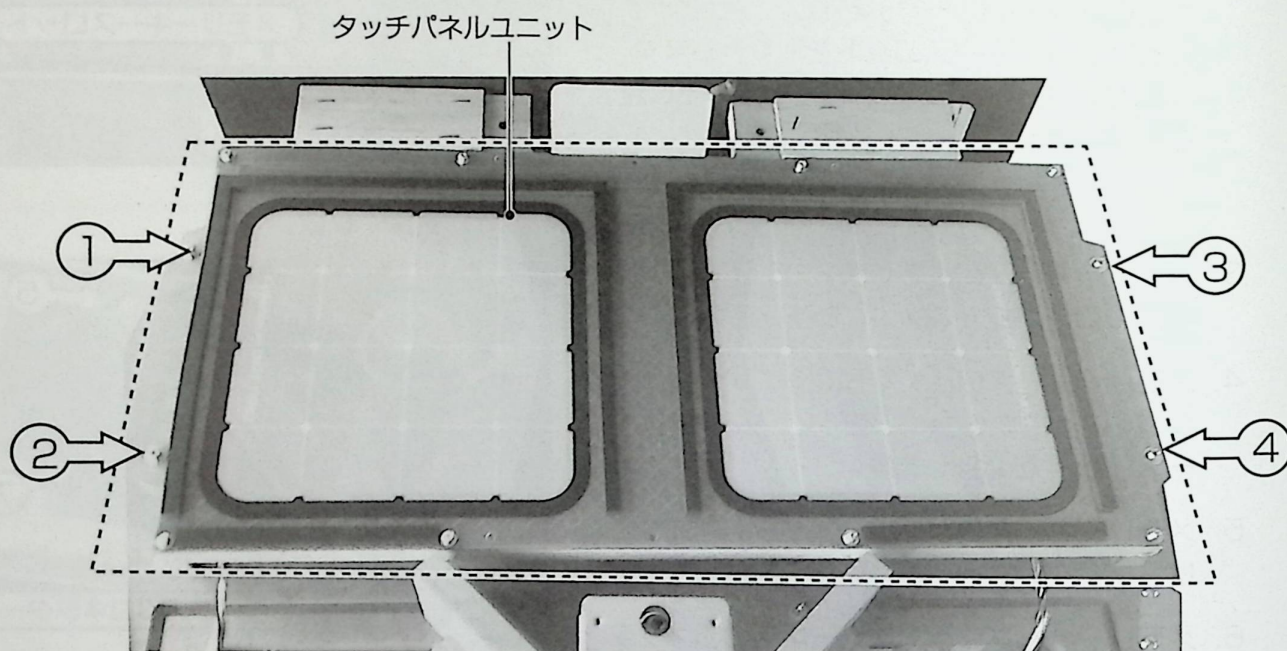
4. メモリーキースロットを固定しているブラケットのネジ4本(④～⑦)を外し、メモリーキースロットを交換します。

5. メモリーキースロットにブラケットを取り付け、ネジ4本(④～⑦)で固定します。

6. メモリーキースロットにハーネスのコネクター(2ヶ所)を接続します。

7. ブラケットをネジ3本(①～③)で固定します。

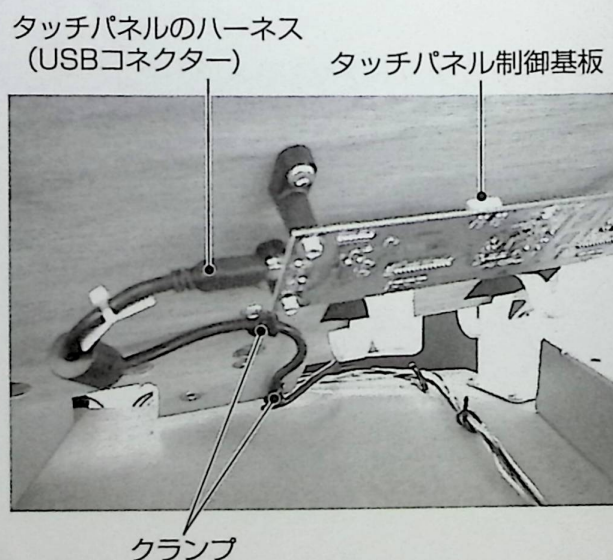
8. 20～21ページ「バトルフィールドカバーシートの交換」の8.～9. の手順でコントロールパネルを取り付けます。

タッチパネルユニットの交換

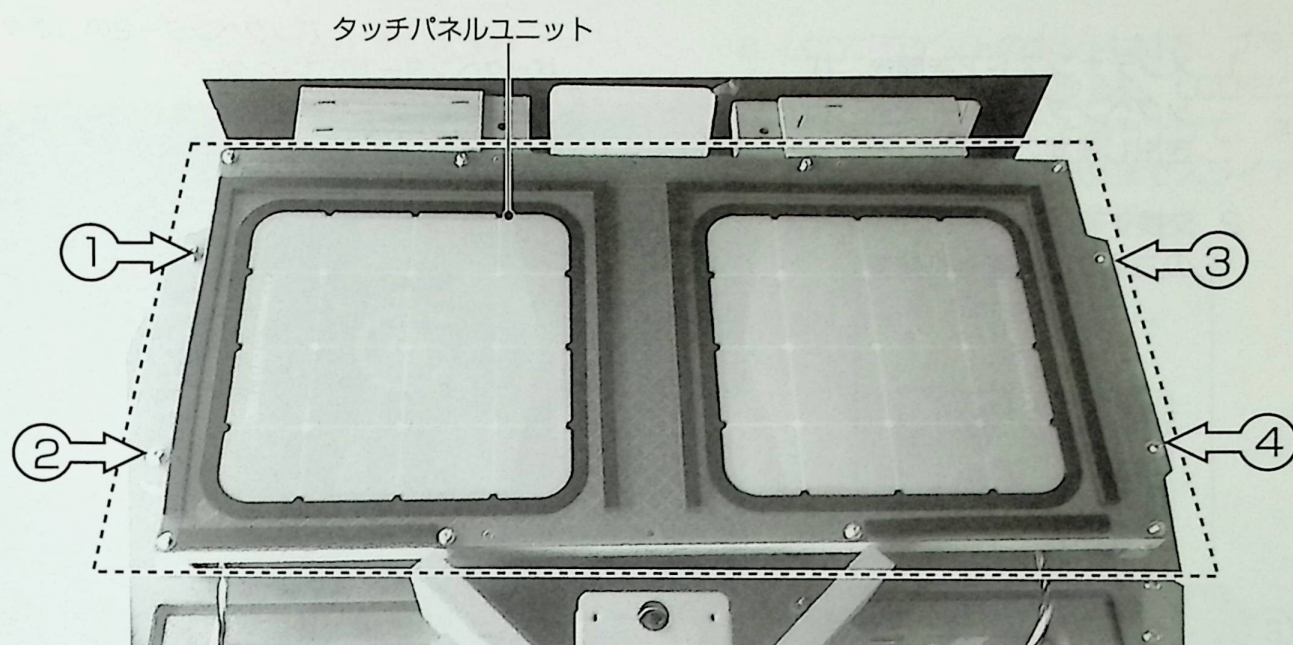
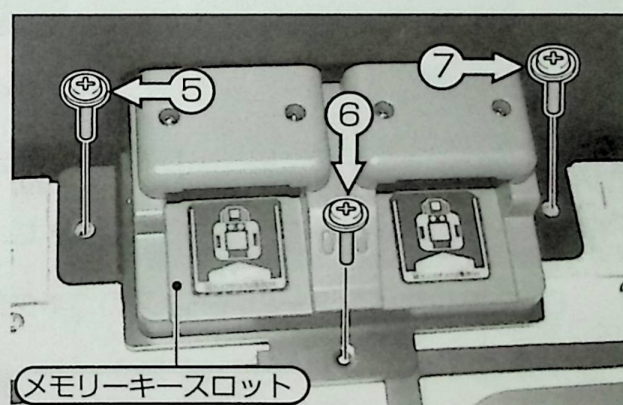
1. 22ページ「メモリーキースロットの交換」の1.～2. の手順でメモリーキースロットを取り外します。

2. タッチパネルユニットを固定しているネジ4本(①～④)を外します。

3. タッチパネルユニットを少し左手前に移動し、タッチパネルユニットのハーネスをクランプ(2ヶ所)から外します。

4. タッチパネルのハーネスのUSBコネクターを、タッチパネル制御基板から外します。

5. タッチパネルユニットを交換し、タッチパネルのハーネスのUSBコネクターを、タッチパネル制御基板に接続します。

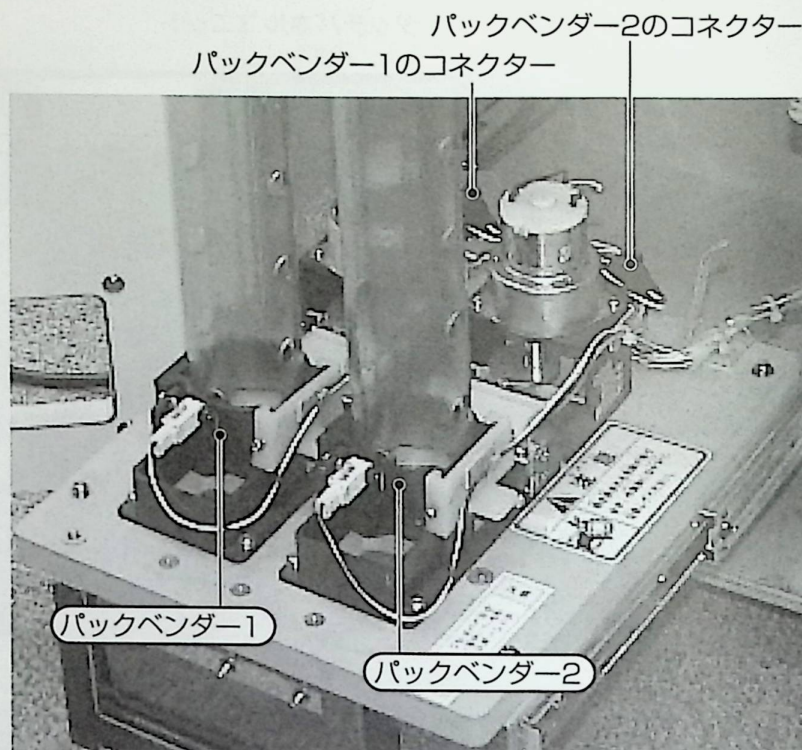
6. タッチパネルユニットのハーネスをクランプ(2ヶ所)で固定します。

〔次ページに続く〕

7. タッチパネルユニットを元の位置にセットし、ネジ4本(①〜④)で固定します。

8. メモリーキースロットをネジ3本(⑤〜⑦)で固定します。

9. 20ページ「バトルフィールドカバーシートの交換」の“1.”で外したランプハーネスのコネクター(2ヶ所)を接続します。

10. コントロールパネルを元の位置にセットし、ネジ2本(⑧〜⑨)を付属の六角レンチ(小)で固定し、次にネジ(7本)(①〜⑦)を付属の六角レンチ(大)で固定します(21ページの図参照)。

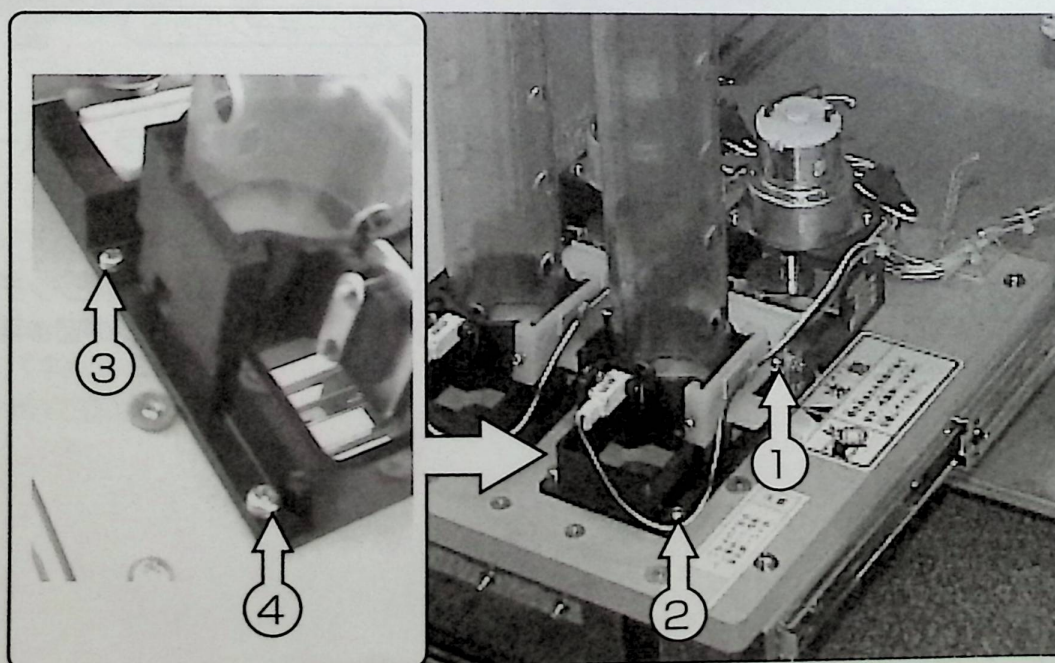
パックベンダーの交換

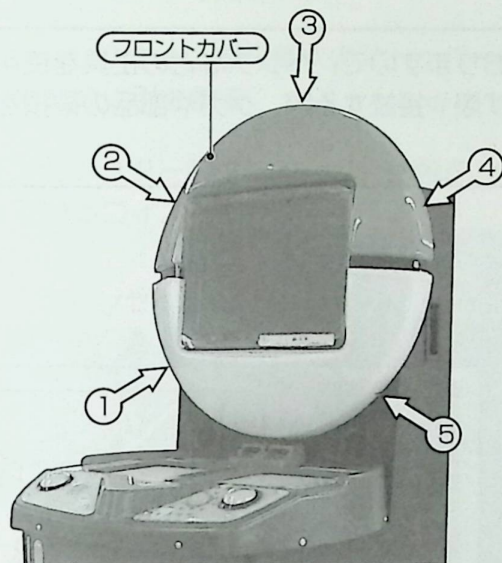
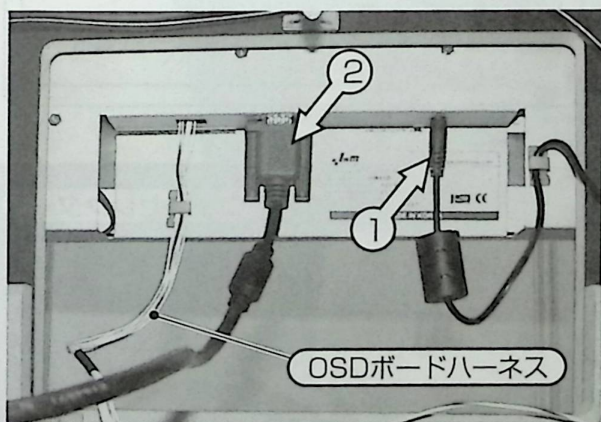
1. メンテナンスドアを開き、パックベンダートレイを前へ引き出します。

2. 交換するベンダーのハーネスのコネクターを外します。

3. 交換するベンダーを固定しているネジ4本(①〜④)を外します。

4. ベンダーを手前に引き出して、交換します。

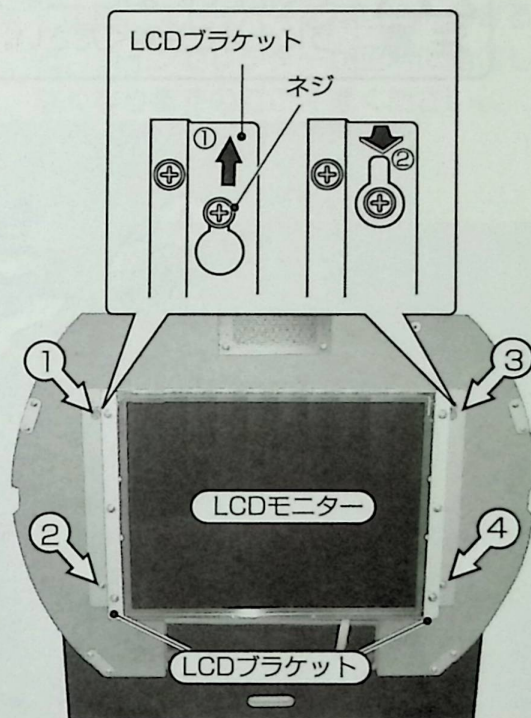
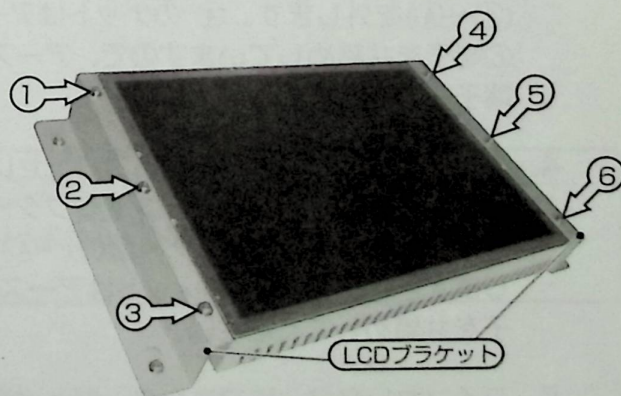
5. 新しいベンダーを元の位置にセットし、ネジ4本(①〜④)で固定します。

6. 交換したベンダーのハーネスのコネクターを接続します。

LCDモニターの交換

1. フロントカバーを固定しているネジ(5本)を外し、フロントカバーを外します。

2. 背面パネルを開き、LCDモニターに接続してあるハーネスのコネクター(2ヶ所)を外します。

3. 「LCDモニターの調整方法」(41ページ)の手順で、メンテナンスドア側からOSDボードが見える状態にします。

4. OSDボードを固定しているネジ(2本)を外します。

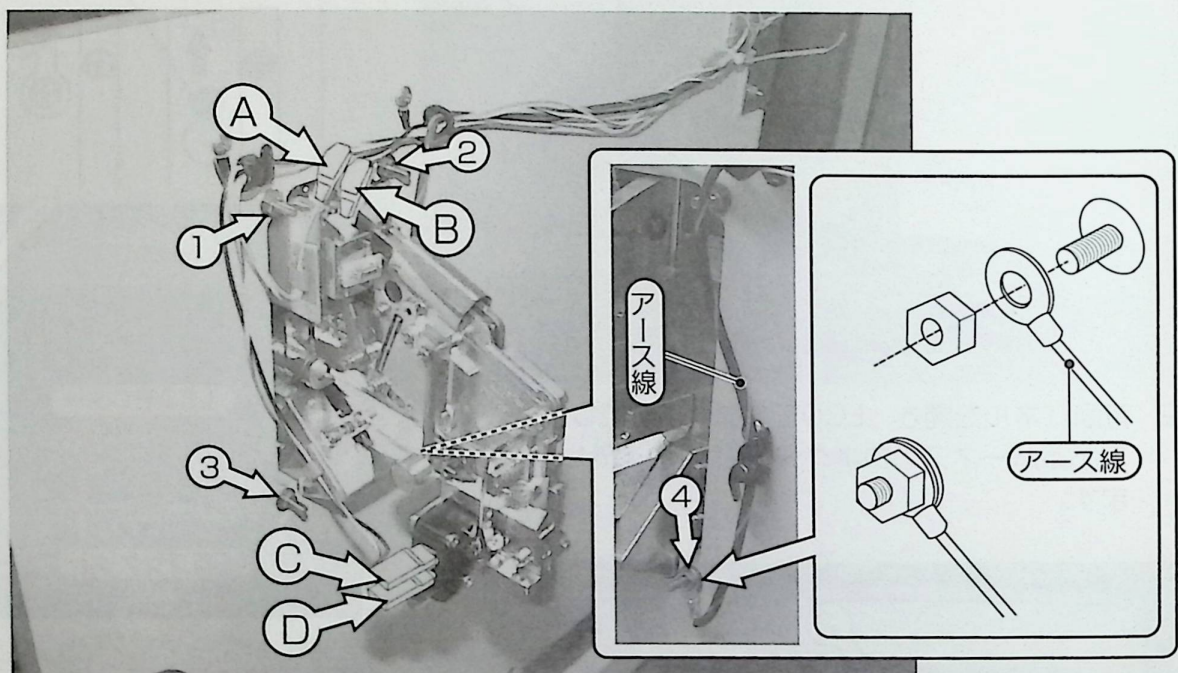
5. 背面パネル側からOSDボードを取り出します。

6. LCDブラケットのネジ(4本)を、ブラケットが動く程度にゆるめ、LCDモニターをブラケットごと持ち上げて、ネジ穴の大きくなった部分までスライドしたら手前に取り外します。

7. LCDモニターからブラケットを取り外します。ブラケットはネジ(6本)で固定されております。

8. LCDモニターを交換したら、1〜7の逆の手順で元の状態に戻します。

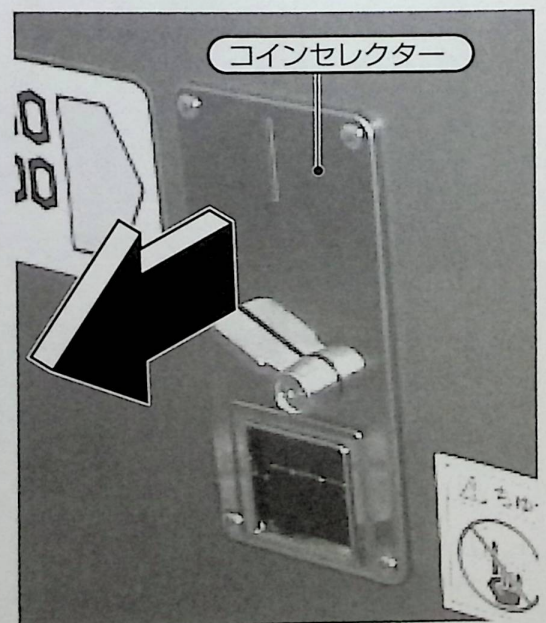
コインセレクターの交換

1. メンテナンスドアを開きます。

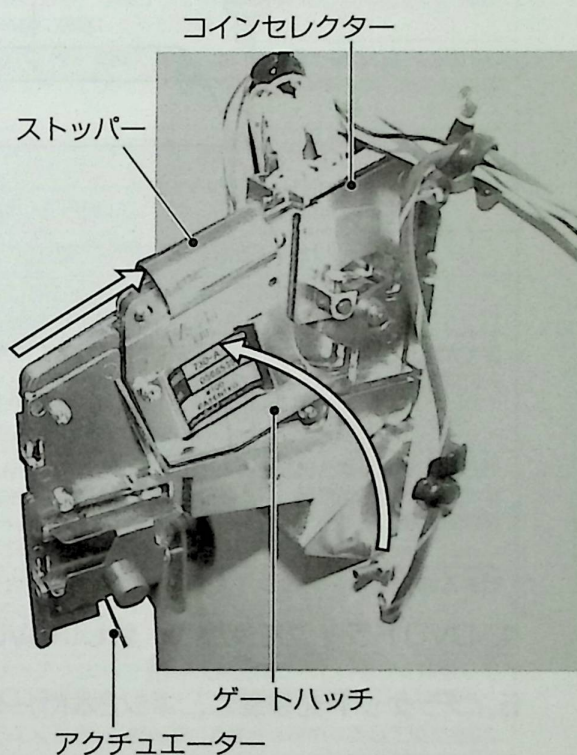
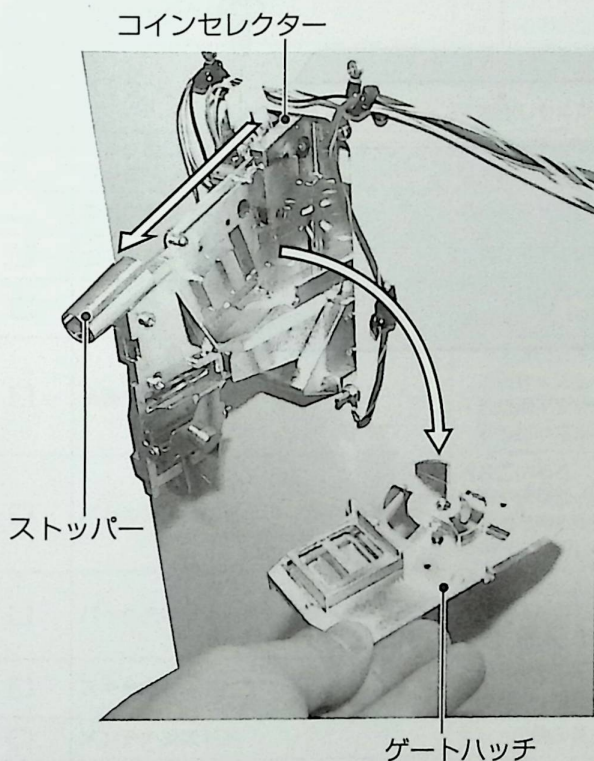
2. コインセレクターに接続しているハーネスのコネクター(Ⓐ~Ⓓ)を外します。

コネクターは大変かたく接続されておりますので、ペンチなどの工具を使用して外してください。また、コネクターを外す際や接続する際、ケガや部品の破損をしないように十分ご注意ください。

3. コインセレクターを固定しているナット4個(①~④)を外します。④ のナットはアース線の端子を共締めしていますので、アース線の端子も外してください。

4. メンテナンスドアの表側からコインセレクターを取り外し、新しいコインセレクターを元の位置にセットしてナット4個(①~④)で固定します。この時、④ のナットはアース線の端子を共締めしてください。

5. コインセレクターにコネクター(Ⓐ~Ⓓ)を接続します。

コインが詰まったときは

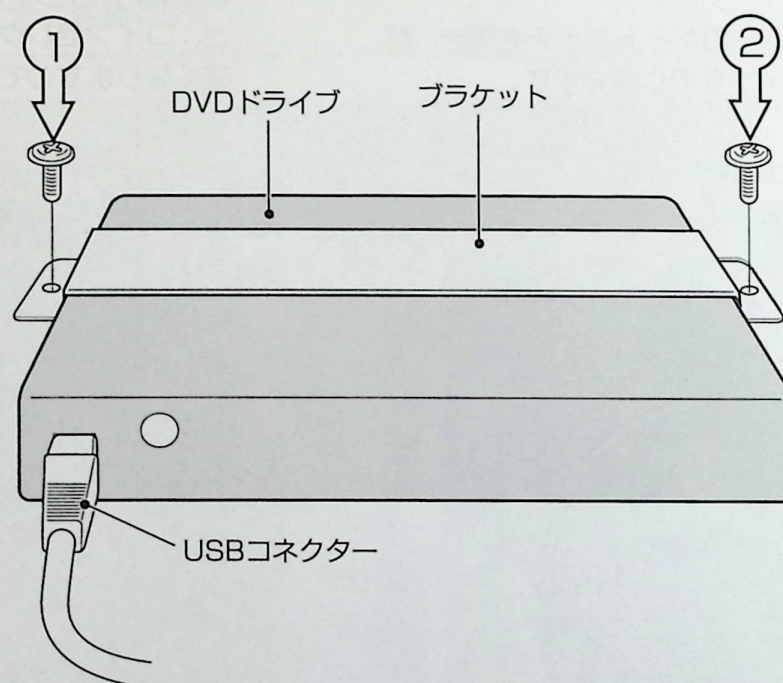
1. メンテナンスドアを開きます。
2. コインセレクター上部の筒状のストッパーを矢印の方向に引きます。
3. コインセレクターのゲートハッチを開き、詰まっているコインを取り除きます。
4. ゲートハッチを元の位置にセットし、ストッパーを元の位置までスライドして固定します。

※ この時、ストッパーを押し込み過ぎると、コインセレクターが正常に動作しなくなりますのでご注意ください。

コインセレクターのメンテナンス作業をする場合は、コインセレクターのアクチュエーター（ヒゲ状のセンサー）に触れないようにご注意ください。

DVDドライブの交換

1. 背面パネルを開きます。

2. DVDドライブに接続しているUSBコネクターを外します。

3. ブラケットを固定しているネジ2本(①～②)を外します。

4. DVDドライブを交換し、新しいDVDドライブを元の位置にセットします。

5. ブラケットを装着し、ネジ2本(①～②)で固定します。

6. DVDドライブのUSB端子にUSBコネクターを接続します。

チェックリスト

正常に動作している製品でも、長期的に使用していると異常が発生する場合があります。
末永くご使用いただくために、次の項目等に関して日常の保守点検を実施してください。
※必要に応じて、このページをコピーして、定期点検にご使用下さい。

日常点検

チェック	点検箇所	点検・メンテナンス方法
□	アジャスター（PB00001～PB01000までの筐体）	きちんと4点が接地しており、筐体が水平に固定されていることを確認してください。接地していないと、筐体が動いて危険です。
□	キャスター（PB01001以降の筐体）	きちんと4点がロックされており、筐体が水平に固定されていることを確認してください。ロックが外れていると、筐体が動いて危険です。
□	フロントカバーのネジ	緩みがあった場合は締め直し、脱落があった場合は適合するネジを装着してください。
□	コインセレクター、コイン返却口	異物や汚れがあった場合は取り除いてください。
□	コインセレクター	マイクロスイッチ（ひげ状の針金）が曲がっていないか確認してください。曲がっている場合は、正しい角度に調整してください。
□	パックベンダー	マイクロスイッチ（パックベンダー基部にある針金）の位置を確認してください。パックが入っていないのにマイクロスイッチが下がっている場合は、正しい位置に調整してください。
□	パック出口、パックホルダー、パックベンダー	異物や汚れがあった場合は取り除いてください。汚れていると、商品（パック）の汚れの原因となります。
□	電源プラグやアース線の接続	ゆるみや脱落がないか確認して下さい。
□	コネクター	コネクターの緩み、脱落、ピン抜け等がないか確認して下さい。
□	Type-X	ファンにホコリなどがたまっていないかを確認してください。過度にホコリがたまっていると、正常に動作しない恐れがございます。
□	各種センサー	・マイクロスイッチなどのアクチュエーター（動作部分）が周辺部品と接触することなくスムーズに動くか、また曲がりなどの異常がないか確認してください。 ・接続端子や配線のハンダ付けに異常がないか確認してください。 ・取り付けネジの緩みがないか確認してください。
□	バトルフィールド	汚れていると、パックを滑らせたときにパックが汚れる原因となります。柔らかい布や綿棒で汚れを取り除いてください。汚れが落ちない場合は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭いてください（シンナーなど、揮発性溶剤は絶対に使用しないでください）。
□	パックスキャナーアクリル	中央の凹部にホコリなどがたまっていないか確認してください。汚れがある場合は、綿棒などで取り除いてください。 また、アクリルが割れている場合は交換してください。
□	スキャナー	上からのぞいて、スキャナーアクリルの凹部中央に設置されているかを確認してください。中央からずれている場合は、スキャナーの位置を調整してください。
□	メンテナンスドア	ナットの緩み具合を確認してください。緩んでいる場合は締めなおしてください。
□	コントロールパネル	上面・側面のネジが脱落していないか確認してください。取れている場合は予備のネジを取り付けてください（ネジがない場合はAM相談室までご連絡ください）
□	ＡＣ電源ケーブル	筐体側のインフレットにしっかりさされているか確認して下さい。 また、お客様から触れない位置にあるか確認して下さい。
□	電源取得元	タコ足配線はおやめください。事故の原因となります。
□	ＰＬシールの汚損	破れたり、はがれたりしていないかを確認してください。

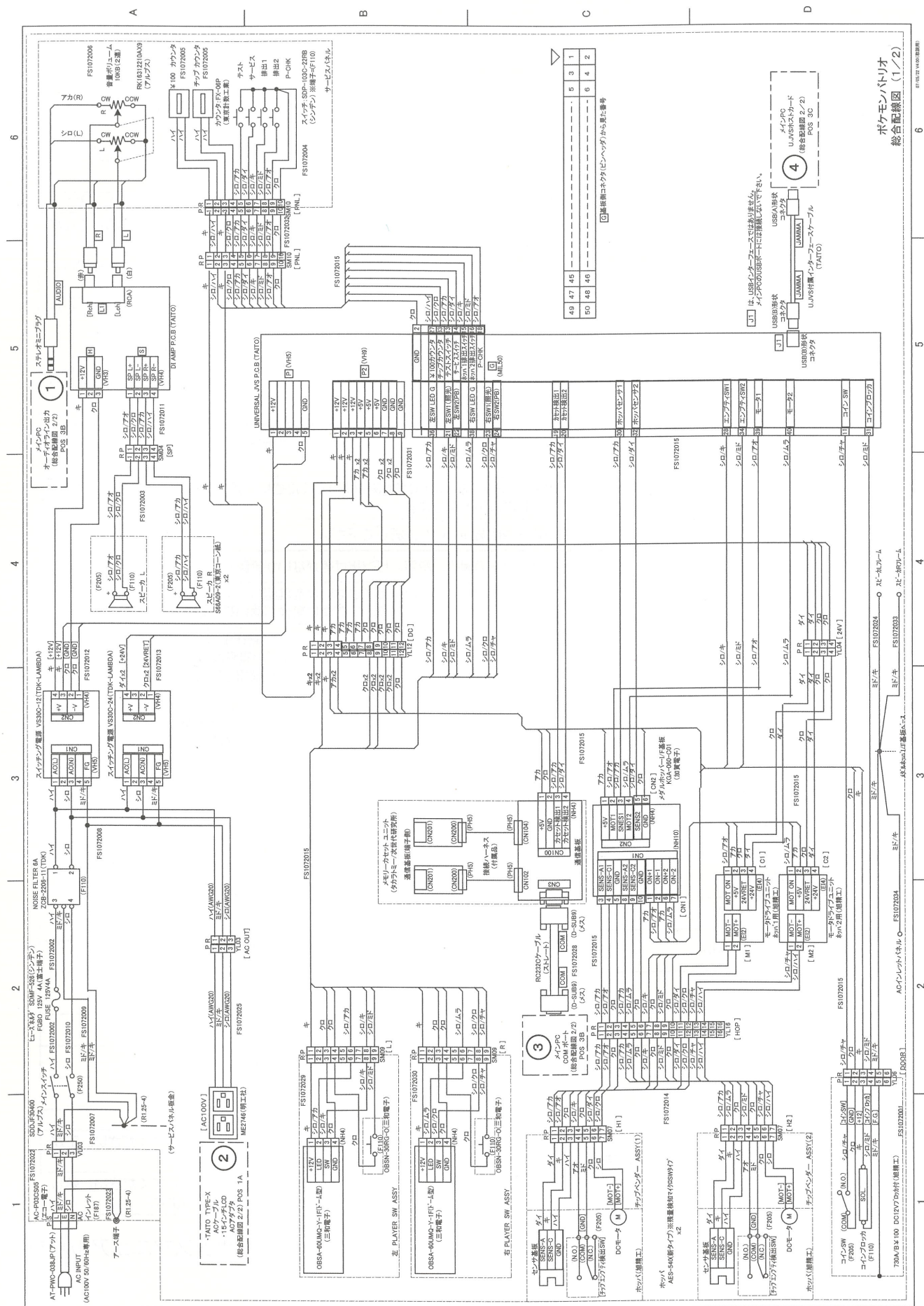
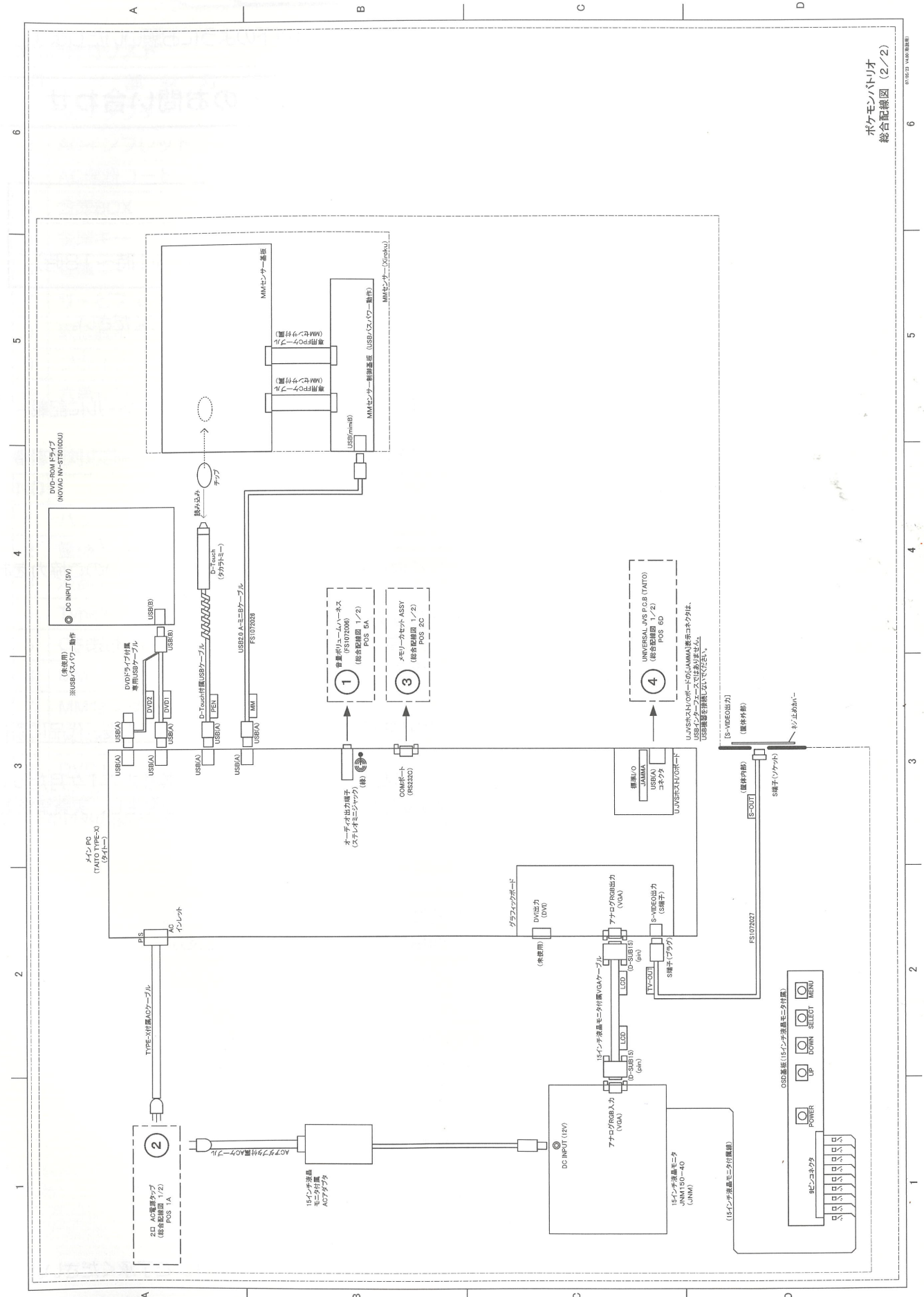
筐体移動の際

チェック	点検箇所	点検・メンテナンス方法
□	アジャスター（PB00001～PB01000までの筐体）	筐体を移動する際は、アジャスターが上がっているかを確認してください。下がったまま移動すると、破損の恐れがあります。
□	ＡＣ電源ケーブル	筐体を移動する際は、AC電源ケーブルを外しているか確認してください。差し込んだまま移動させると、インフレットの破損の原因になります。

メンテナンスの際、筐体に異常な点を発見された場合は、「故障対応・メンテナンスマニュアル」をご確認下さい。
それでも解消されない場合は、AM業務用相談室までご連絡下さい。

結線図

ポケモンバトリオ
総合配線図（1/2）

結線図

ポケモンバトリオ
総合配線図（2/2）

サービスのご案内

ポケモンバトリオに関する、筐体・パック商品などに関するお問い合わせは以下のようにお願いいたします。

マシンの故障・設定およびゲーム内容などについてのお問い合わせ

2007年11月1日より、以下にお問い合わせください。

【タカラトミーＡＭ業務用相談室】
03－3602－3436（受付時間：土日祝日除く平日　11時～18時）

● 事前に本書P3からの「故障かな？と思ったら」のチャートで、問題箇所をチェックしてください。

● 故障・診断の際に、以下のことをお知らせください。
◇ 製品名：「タカラトミー：ポケモンバトリオ」
◇ シリアルナンバー：シリアルナンバーは、筐体の背面にあるシリアルナンバーシールに記載されています。
◇ 故障状況：故障の状況をできるだけ詳しくお伝えください。
◇ 設置店舗名とご担当者様氏名・ご連絡先

● 修理作業についてのお願い
・消耗品や簡単なパーツ交換の場合、部品をお送りして交換作業をお願いする場合があります。
修理後再利用が可能な消耗品は当社指定の発注先にご返送をお願いしております。（元払いのご協力をお願い致します）
・大掛かりな改修が必要な場合、筐体の工場への発送をお願いする場合があります。
大変お手数ですが、Ｐ16の梱包方法をご覧いただき、最適な手段での送付をお願いいたします。
数日～数週間で修理を完了し、筐体を再貸与いたします。

● 先だし交換用部品の注意事項
◇ 先出し交換用部品の貴社からの代品分の返品は、弊社発行の現品添付票に担当者名記入後、代品に添付して納品後１ケ月以内に返品してください。
◇ 先出し交換用部品を実施した場合、この先送りをした部品と同じ部品が同一数、弊社まで１ケ月たっても返品されなかった場合には、部品の売買契約が成立したものとし、支払い義務が発生し、実費請求書が送付されることになりますのでご注意願います。
◇ 代品についても部品の場合と同様です。

● 筐体故障発生時の弊社の免責事項について
弊社の責による事由により発生した故障につきましては、弊社が無償対応いたします。
ただし、以下に掲げた項目については、無償対応の適用除外となります。（送料含む）
・天災等の不可抗力に起因する障害
・冠水・機器の落下破損による障害
・機器操作上の誤りに起因する障害
・本書の指定する設置条件、仕様条件に反して使用したことに起因する障害
・弊社が指定していない使用条件変更（装置の追加・改造）に起因する障害
・使用者の故意・過失に起因する障害（紛失・盗難）
・必要な定期整備（保守点検）を怠ったことに起因する障害
・オーバーホール、定期メンテナンス、本機の移動・再設置
・本機以外の他の機器に起因する障害
他の機器から発生する電波、磁気干渉等による誤動作（画面の乱れ等）
タコ足配線などによる電力供給不足による誤動作等

※ 盗難・破損・事故があった場合は、まずユーエース担当営業にお知らせください。
また、故障等により筐体が稼動できない期間についての営業補償には応じかねます。ご了承ください。

（次ページに続く）

部材リスト

●免責部材リスト

NO	部　材　名	分類	税抜き単価	備　考
1	ACアダプター	消耗	1,455	店舗様紛失・破損時の金額です。
2	ACインフレット	消耗	800	
3	AC電源コード	消耗	1,500	
4	金庫BOX	消耗	3,000	
5	金庫キー	消耗	3,000	
6	金庫キーシリンダー	消耗	3,000	
7	サービスキー	消耗	3,000	
8	取扱説明書3種	消耗	各1,000	
9	ブラインドパイプ2本	消耗	1,000	
10	六角レンチ	消耗	650	

●修理対応部材リスト

NO	部　材　名	分類	税抜き単価	備　考
1	パックベンダー	修理	―	修理対応品の為、 AM業務用相談室指定先にご返送願います。 大変恐縮ではございますが 「元払い」のご協力をお願いします。
2	筐体	修理	―	
3	液晶モニター	修理	―	
4	TypeX	修理	―	
5	OSD基板	修理	―	
6	MMセンサーシート	修理	―	
7	MMセンサー	修理	―	
8	JVS基盤ボックス	修理	―	
9	DVDドライブ	修理	―	

※上記部品はＡＭ業務用相談室に寄せられるお問い合わせ頻度の高いものです。
　上記以外の部材に関しましては、適宜ご報告・ご相談ください。

パックや関連商品など、お客様の手に渡るものについてのお問い合わせ

【タカラトミーお客様相談室】

東京：03－5650－1031

(10:00～17:00　土曜、日曜、祝日は営業していません)

大阪：06－6395－1031

(10:00～17:00　土曜、日曜、祝日は営業していません)

● パックの初期不良について

・ 商品の特性上、成型のばらつき、小さい汚れ、シールのズレ、透明樹脂内に内部のバリが透けて見える、などが発生します。お取替えには対応できかねますので、ご了承ください。

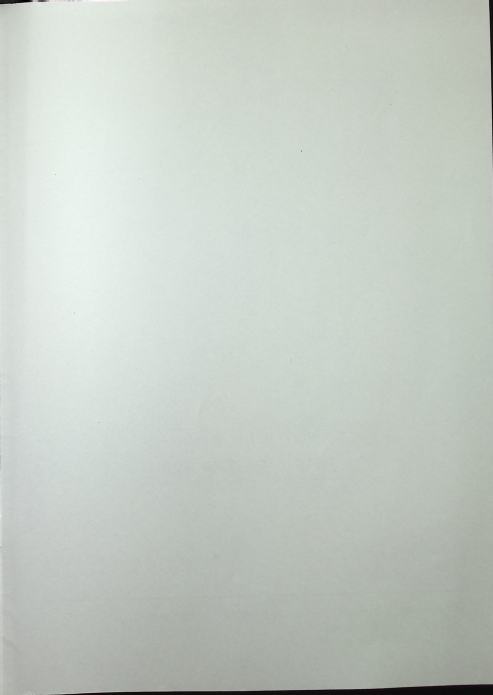
・ パックの印刷不良による、読み込みできないものに関しては、良品との交換をさせていただきます。必ず消費者のお客様より直接こちらにご連絡いただき、不良品を着払いで発送いただきます。着荷確認後、内容確認の上、良品を発送させていただきます。

● メモリーキーについて

・ 基本的には、メモリーキー内のゲーム進行記録が消えることはありません。

・ メモリーキー裏面のリセットボタンは、画面が乱れるなどのバグを解消するためだけに使います。

・ メモリーキーのコネクタ部の汚れなどにより、データ読み書きに支障が出る場合があります。
キーの挿し具合を調整し、緑ランプがつくことを確認してからコインを投入してゲームを始めることでデータ読み書きの確実性をあげることができます。

ポケモンバトリオ　ホームページ
http://battrio.com

● 本書の内容は、改善のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

【発売元】株式会社 タカラトミー　デジタル営業グループ　NA営業チーム
〒124-8511　東京都葛飾区立石7-9-10

2008-Jul.
Printed in Japan